

地中埋設物調査（既存配管を見つけて、損傷を防ぎたい）

◆レーダ

• 地中探査レーダ



• 鉄筋探査機



反射してくるレーダ波形から埋設物を推定する。
メリット：片面から探査可能簡便、比較的広範囲
デメリット：塩ビ管(水道管)の検出率が悪い。

◆パイプロケータ

• パイプロケータ



発信機をバルブなどに接続し信号を流す。受信機により埋設されている箇所を推定する。
メリット：比較的広範囲。
デメリット：分解能が粗く、配管が近接していると区別が出来ない。

◆目視

• マンホール開閉



アスファルト舗装の施工観察。マンホールを開けて、配管の方向と深さを観察する。
メリット：簡便、広範囲。
デメリット：マンホールの開閉を伴うため、通行の妨げになる。

◆金属探知器

• 金属探知器



いわゆる金属探知器。土中の金属バルブ等は明瞭にわかる。
メリット：周りに金属が無ければ、対象物が明瞭にわかる。
デメリット：市街地では反応しすぎる。小さい対象物には反応しない。